



實相寺 花園會報

令和五年
八月一日発行
発行所
臨濟宗妙心寺派
陽明山 實相寺
實相寺花園會
〒761-0450
高松市三谷町
1811番地1
TEL087-889-3838
編集発行人
山本文匡
<https://www.jissouji.net>

第172号

お寺の掲示板

最初は、ほんのささいな一念です。それを考えに考えて、どんどん念をつなげて、自分を大きくしていく。そして気づいた時には自分ではもうどうしようもない状況になっただけです。

念の起ることはやむを得ないことですが、その念を持続させない、断ち切ることが大切です。それには自分の呼吸に集中することです。円覚寺派管長 横田南嶺老大師 『ある日の法話より』 いろはにはへと』より

「境内一斉清掃」

さる7月30日午前7時半より9時まで、恒例のお盆前の境内一斉清掃を実施したところ、猛暑の中、早朝より19名の方がご参加下さいました。おかげさまで今年もお盆が迎えられます。また清掃後は、8月4日ご命日の生駒家4代藩主高俊侯の正室、秋月院殿様の五輪塔と様々な方が眠る無縫塔に皆でお参りしました。



ご参加頂いた方々は次の通りです。

- 中井一誠、高見政己・潤一郎、天野秀俊、山崎孝哲、松本幸一・真理子、中井雄三、中井愛雄、相良須美代・朱美、関博之、藤澤宗龍、山下正城、島田晃男、渡辺浩、山崎正晃、佐野幸治、秋山明弘（敬称略・順不同）

皆様、有難うございました。

「8月15日のお盆合同法要について」

午前9時より開催で、オンライン参加も可能です。

ZOOM ID/PASS は左記の通りです。
ミーティング
パスコード

なおオンラインや欠席の方は、左記ゆうちよ振替口座をご利用下さい。

01630-084640 實相寺
(当座：一六九店 84640)

「これからのお寺の役割とは②」
先日、6月号で「宗教やお寺の魅力とは、割り切れないものを受けとめる力ではないか」と書いたのは、修行道場での食事を思い出したからです。

私のいた道場では常に十数名が一緒に食事しましたが、必ずしも同じ物が、同じ分量だけ配られる訳ではありません。正式にはお給仕係が付くのですが、普段はご飯のお櫃やお汁の入った桶が上座から順に回って来るので、各自で自分の食器に取り分けるのです。

たまに誰かが近くの寺の手伝いに行くと、仕出し弁当を貰ってくる場合があります。弁当には様々なご馳走が入っています。先輩から順に取り回すので、一年目の頃は良いおかずは残っていません。最初は不公平だと思っ

た。輩が下の者に良いおかずが回るよう、時々遠慮していることに気づきました。忬度そんたくという、現代では悪い意味で使われますが、他人の気持ちや立場を推し量ることです。道場では、それを日々の食事を通して学びました。

一方、一般社会では5個のリングを5人で分けることは出来ても、3人や6人で分けることは難しいのではないかと思います。何故なら、現在の社会システムは割り切れないものを扱えないからです。ファミレスではお金さえ払えば食べられますが、一円でも足りなければ食べられません。「少しお金が足りないから、一寸ごはんを減らしてくれませんか」というのは、チェーン店では対応出来ません。高度に効率化された社会では、キュウリにせよナ

のですが、二年目、三年目と過ごすうちに卵焼きやお刺身も取れるようになりました。道場を出れば好きな物が食べられる訳ですし、長く修行している者に優先権が与えられていて、これはこれで平等なんだと理解しました。

禅道場には「食平等」という言葉があります。基本的には皆で同じ物を食べるという意味ですが、大切なのは結果では無くそのプロセスにあります。

例えば少ないご飯でも皆に行き届くように、上の者は全体を見ながら取りますし、托鉢などで信者さん宅でご馳走して貰う時などは、残さないよう皆で協力して平らげました。要は、多ければ多いなりに、少なければ少ないなりに、皆で分け合うのが食平等です。件の仕出し弁当も、ある日五年目の先

スビにせよ、一定の規格に当てはまらない存在は扱い難いのです。

しかし人間は規格通りに割り切れるものではありません。2022年、日本の出生率は1.26人でしたが、実際は子供が一人の女性、二人の女性、子供のいない女性などがいて、それぞれに様々な事情があります。

効率主義が進んだ今、「結婚も就職も全ては自己責任でしょ？」という風潮もあります。誰しもがそうしようと思っただけでそうになっている訳ではありません。むしろ思い通りにならない人生に、割り切れない思いを抱えている人は、今も昔も多いはずですよ。

古来、宗教とはそうした割り切れない思いを受けとめてきた器だったのではないかと思うのです。【ついに続く】